

三河商人道

PART
156

青年部とは
自分自身の力量を発見し、
自分をアピールできる場



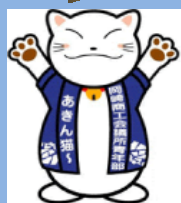
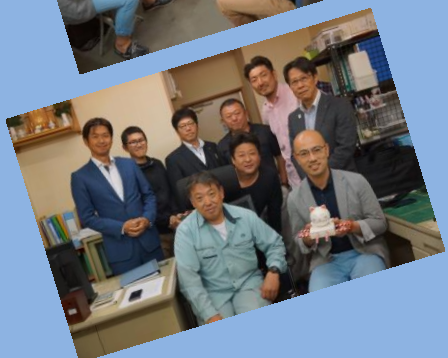
平成8年より岡崎にて、建造物の改修工事を手掛られている櫻庭朋樹さん。工事の種類としては、主に防水工事、補修工事、補強工事を中心に事業展開されています。防水工事はシートやFRP樹脂を用い雨水等の侵入を遮断する工事です。一般住宅から1000㎡を超えるようなとても大きな工事まで施工します。そして耐震補強工事に関しては、学校、市役所などの公共の建造物が主になり、地元岡崎でも岡崎高校、岡崎工業高校、愛教大附属高校、大門小学校、福岡小学校等、今これをご覧になられている皆様も自身やご家族が通った学校があるのではないのでしょうか？「学校や市の心臓部でもある市役所には大変大勢の子供たちや市民が行き来する場所になりますので、失敗や手抜きがそのまま人命にかかわってきます。」取材を通して櫻庭さんから仕事にかける思いと責任感がとても強く感じられる事ができました。

岐阜県岐阜市出身の櫻庭さん、地元での仕事量が少なかった為、当時お世話になっていた方を頼りに平成8年、32歳の時に岡崎に来られました。青年部には平成18年4月に入会されました。岡崎に来てからも従業員以外では地元の方との繋がりも少なく人脈を広げたい一心で入会を決意したそうです。入会と青年部活動をきっかけに今では青年部メンバーからの依頼も賜わるようになり人脈もさることながら強い信頼関係も築けたと仰っておられました。

平成20年、入会3年目にして渉外委員長をした年度が今までの青年部活動の中で最も思い出に残っていると語る櫻庭さん。1年を通して、青年部20周年事業、日本YEG全国大会企画参加、東海ブロック大会企画参加、他単会との交流事業企画参加等をサポートしていく中で問題も山ほど。眠れない日もあり先輩からお叱りを受け、なんとか20周年事業の最大の見せ場である懇親会が終了したときには時の会長、そして副委員長と抱き合っただけで男泣きしたこともあったそうです。

幼い頃から鉄道が好きで今では模型を集めるのが趣味で、新幹線をはじめ寝台列車、機関車、名鉄電車など50両ほど所有されています。子供が巣立ち櫻庭さん自身も時間ができたら一つ趣味の部屋を作りジオラマを飾りガラスを傾けながらそれを眺めたり、実際に列車で日本一周もしてみたいとも仰っておられました。

「青年部とは自分自身の力量を発見し、自分をアピールできる場」。「日頃の社業では経験できないことが青年部には多くあり、その時々によって自分自身の立場が変わり、その置かれた立場によってどう自分を発揮できるか自分自身を売り込めるか。真直ぐな気持ち、意気込みでぶつかれば相手も快く受け入れてくれるし賛同もしてくれる、それが青年部だと強く思う。」と語っていただきました。



取材担当/
渉外委員会
平岩哲朗、大野俊介、
神尾尚宏、香村経文、
柴田正規、高原裕治、
照井彬等